

## 第1部・第2部特別課程第27期 (平成26年9月9日～10月3日)

課 目 名	組織、行政の危機管理
時 限 数	2時限
担 当 講 師	<p>田中危機管理広報事務所代表取締役 田中正博          &lt;プロフィール&gt;</p> <p>1962年 早稲田大学文学部卒、電通パブリック・リレーションズ社に入社、同社にて常務取締役、専務取締役を歴任後、2001年に田中危機管理広報事務所を設立し2010年から現職</p> <p>近年は、緊急記者会見、クレーム対応、欠陥商品問題、訴訟問題、企業不祥事など1,500件を超える危機管理コンサルティング業務を手掛ける。</p> <p>(社)東京商工会議所 危機管理アドバイザー (H17.4～) (社)建設広報協議会理事 (H19.4～)、静岡県ジャンル別広報アドバイザー (H19.4～)</p>
ね ら い	<p>① 具体的な事例を豊富にあげながら、その事例を通じて自治体職員にとっての実践的な危機管理を体得、理解してもらう。</p> <p>② 危機管理では「知識や経験」「組織のあり方」「制度やルール」「人員数」「マニュアル」などより「危機管理意識」のほうが優先することを自覚してもらう。</p> <p>③ 係長級の立場での組織の危機管理のあり方を認識、自覚してもらう。</p>
講 義 概 要	<p>①係長として危機管理の基本認識を持つ</p> <p>②不祥事こそ自治体の最大の組織危機と知る</p> <p>③不祥事を起こす「3つの心理」</p> <p>④知識より優先する「3つの意識」</p> <p>⑤係長としての危機管理・必須心得</p> <p>⑥職場に浸透すべき「7つの行動指針」</p> <p>⑦職場の危機管理演習「こんな時、係長として、どう対応する？」事前課題</p>
受講上の注意	事前に演習課題を提示しますので各自で対応策をまとめて出席してください
使用教材	「実践・危機管理広報」(田中正博著) 講義レジュメ
効果測定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし